

教科名	国語	科目	国語演習	週授業時間	2時間
-----	----	----	------	-------	-----

1. 教科書および副教材・参考書

教科書：「新しい国語1」（東京書籍）

副教材：「国語の学習1〔東京書籍版〕」（明治図書）

：「国語便覧 千葉県版（デジタル版）」（浜島書店）

問題集：「つまづかない！文法の学習」（新学社）

2. 授業の目標および内容

日常なにげなく使っている言葉にもいろいろな法則があることを学習します。

また、古典文学作品に触れることで、日本の言語文化に対する理解を深めます。

加えて、「話す・聞く」「書く」を中心とした様々な言語活動を行い、人との関わりの中で伝え合う力を高めます。

3. 試験について

	1学期		2学期		3学期
定期試験	一次 5月	二次 7月	一次 10月	二次 12月	期末 3月
学力試験			第1回 9月		第2回 1月

内容・難易度について

① 定期試験：教科書・副教材・プリントなどの授業範囲内で、問題を作成します。

② 学力試験：教科書以外の文章を用いて、中学1年程度の問題を作成します。

4. 課題・補習について

必要に応じて課題を出したり、補習をおこなったりします。

5. 評価の視点

定期試験を元に、学力試験、小テスト、ノート提出などを参考に平常点として、加点または減点して評価をします。

授業計画

学期	単元	学習内容	備考
1	自己紹介スピーチ	声の大きさや話す速さ、間の取り方などに気をつけて話すことを学習する。	適宜小テストを実施し、口語文法の習熟を促す。
	言葉の単位	文章・段落・文節・単語など、日本語の基本的な文法事項について学習する。	語彙に関する知識を深めるため、慣用句を学び、小テストで知識を定着させる。
	文の成分・連文節	主語・述語、修飾語などの文の成分や、連文節とは何か、文節同士の関係にはどのようなものがあるかを学習する。	12月実施予定の校内百人一首大会に向け、百人一

	指示する語句、接続する語句	指示語・接続語の働きやその種類について学習する。	首を学び、定期的に小テストを行う。
2	古典の世界 伊曾保物語 竹取物語 矛盾	古典にはさまざまな作品があることを知り、古典に対する興味や関心を持つ。 現代語とは異なる仮名遣いや言葉に注意して、古文を読み味わう。 物語のおもしろさを知り、作品に描かれた世界と現代とのつながりを考える。 漢文特有のリズムを味わい、訓読に必要な決まりを知る。 さまざまな故事成語の由来や意味を調べ、故事成語を使って短文を作る。	語彙に関する知識を深めるため、故事成語を学び、小テストで知識を定着させる。 12月実施予定の校内百人一首大会に向け、百人一首を学び、定期的に小テストを行う。
3	自立語・付属語・活用・品詞 名詞 副詞・連体詞・接続詞・感動詞 意見文	単語の分類について学習する。 名詞とは何か、名詞の種類について学習する。 副詞・連体詞・接続詞・感動詞それぞれの特徴や種類を学習する。 説得力のある根拠を考え、根拠を明確に示して自分の意見を書くことを学習する。	適宜小テストを実施し、口語文法の習熟を促す。 語彙に関する知識を深めるため、ことわざを学び、小テストで知識を定着させる。